

サッカーの県高校新人大会最終日は29日、長崎市総合運動公園かきどまり陸上競技場などで男子の準決勝、決勝、女子の決勝が行われ、男子決勝は長崎総合科学大付が長崎南山を3-1で退け、7年連続7度目の優勝を果たした。女子決勝は鎮西学院が島原商に12-0と大勝し、6連覇を飾った。

男子決勝は前半3分、長総大付がMF武井のゴールで先制。25分にFW安藤が追加点を奪い、2-0で折り返した。後半10分にはMF荒木のパスを安藤が決めて3点目。長崎南山も終了間際、FW岩崎のドリブル突破から、FW大谷が蹴り込んで1点を返した。

女子決勝は鎮西学院がゴールラッシュ。前半9分のDF小島の先制点を皮切りに、MF村上が4得点、FW原田、小池が3点ずつを奪うなど島原商を圧倒した。島原商もFW楠木らがゴールに迫ったが、相手の堅守を崩し切れなかった。

男子の長総大付と長崎南山は九州新人大会（2月10～13日・佐賀）に出場する。
(副島宏城)

サッカー

長総大付7連覇



【男子】

▽決勝

長崎総合科学大付 3 (2-0) 1 長崎南山

▽得点者【総】武井、安藤2【南】大谷

【サッカー男子決勝長崎南山ー長崎総合科学大付】
前半25分、ゴールを決めて喜ぶ長総大付のFW安藤
長崎市総合運動公園かきどまり陸上競技場

▽準決勝

長崎南 2 (1-0) 1 鎮西学院
延 1 (0-0) 2 院

▽得点者【長】大谷2【鎮】馬場、内海

【長総大付】
谷中本府木川中井藤村
柳嶋岩別荒小田武安中66011
GK DF MF FW CKKPKH
村竹森上口元畑添谷木尾21202
千佐木紙水山小田大松松
長崎南山
▽交代【総】柏木（武井）仲田（柳谷）田崎（仲田）【南】本川（松尾）岩崎（松木）白濱（紙上）

▽得点者【総】荒木2、嶋中、中村、安藤【巨】高比良

掲載写真は
ウェブ写真館
長崎新聞ホームページ
長崎新聞 写真館 検索

ヒーロー

背番号10にふさわしい躍動ぶりだ。長崎総合科学大付のFW安藤が、男子決勝で全3得点に絡む2ゴール1アシストを記録。チームを7連覇へ導き「重圧はあったが、自分たちの代で途切れさせるわけにはいかなかった」と頼もしく語った。開始早々に鋭い左クロスでMF武井の先制弾をお膳立て。2、3点目は両サイドからのクロスを中心に合わせる得意な形から奪った。ゴール前での力強さ、抜け出しの速さの両方を示した2得点にも、クロスのボールの質が良く、たまたま中にいたから点が取れたと謙虚さを忘れない。2年生のエースにとって、雪辱に燃える1年が始まった。センターフォワードとして出場した年末年始の全国高校選手

全得点絡む活躍

権は、不完全燃焼の2回戦敗退。2試合とも自身無得点に終わったこと、敗れたPK戦で失敗したことに負い目を感じていた。その試合後、涙を流して悔しがる姿に、幼なじみで前主将の薬真寺孝弥が声を掛けてくれた。「おまえには来年があるから」。名残惜しく引退した3年生の思いも、今季の原動力に変えている。背中の「10」の重みもしっかり感じている。3学年上の兄の翼、小学時代から苦楽を共にした薬真寺前主将の2人が背負ったエースナンバーは「自分にとって特別な番号。下手なプレーはできないし、つけた以上は自分の良さを表現しなければいけない」。攻撃の要としての責任を胸に、再び全国舞台に立つための第一歩

を踏み出した。
(宮本祥太)